

令和5年度未来を創る学力向上支援事業に係る授業力向上協議会（小総）

【目的】各小学校及び義務教育学校前期課程の総合的な学習の時間担当教員等を対象に、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり及びカリキュラム・マネジメント等に関する講義・説明等を通して、総合的な学習の時間における教員の指導力及び児童の資質・能力の育成等に資する。

【期日】令和5年7月3日（月）13:30～16:25

【会場】大分県教育センター 講堂

1 開会行事 挨拶

大分県教育庁義務教育課長 小野 勇一

○総合的な学習の時間では、目標を実現するに相応しい探究課題の設定や探究的な学習の過程が定期的に繰り返されていることが求められている背景には、社会が急速に変化し、複雑化していることが挙げられる。

○予測困難社会に対応していくためには、自ら課題を見つけて情報を収集し、整理・分析したり、考えを出し合ったりしながら問題解決に取り組み、考えをまとめて行動することが大切である。

○子どもたちが各教科で身に付けた資質・能力を総合的な学習の時間の中で発揮しながら、必要な資質・能力を身に付け、これからの社会に主体的にかかわっていけるよう指導していくことが私たち（教師）の責務である。



2 行政説明・協議「総合的な学習の時間の一層の充実に向けた授業改善の視点」

<説明>義務教育課指導主事 友永 有司

(1) 説明

○大分県 教育課程の編成・実施状況調査より

・4年生における総合的な学習の時間について
→取組内容として多いものは「環境」「伝統文化」「福祉」「まちづくり」

・地域・学校の特色に応じた課題に対応した内容となっている。

・全体計画や年間指導計画が形骸化して活用されない状況になっていることも考えられる。
(目標や資質・能力が含まれていないこともある)

○総合的な学習の時間の全体計画、年間指導計画

・「1. 学校の教育目標」「2. 総合的な学習の時間の目標」「3. 探究課題」「4. 育成を目指す資質・能力」「5. 学習活動」「6 指導方法」「7. 指導体制」「8. 学習の評価」が各計画に載せられているか。

○総合的な学習の時間の目標

・「総合的な学習の時間の目標」と「学校の教育目標」を基に、学校の総合的な学習の時間の目標を定める。

・学校で定める総合的な学習の時間の内容は「探究課題」と「資質・能力」で示す。



○総合的な学習の時間の評価

- ・総合的な学習の時間の目標が評価規準に連動している。
- ・地域の伝統産業「捺染ぞめ」の継承に力を注ぐ職人の方々と関わる活動を基にした、単元目標及び資質・能力についての説明。

(2) 協議「総合的な学習の時間の全体計画の改善」

1. 総合的な学習の時間の全体計画／年間指導計画を共有する
2. グループ協議する計画を1つ決める
3. 全体計画と年間指導計画で設定されているそれぞれの「資質・能力」のつながりを確認
4. 「資質・能力」を明確化 全体計画と年間指導計画の「資質・能力」をつなげる



【協議後参加者より】

- ・子どもの言葉から探究課題を設定しているが、どのような力を付けさせたいかは不明確なまま1学期を終えてしまった。

○総合的な学習の時間に意識したいこと

- ・「1. 課題の設定」「2. 情報の収集」「3. 整理・分析」「4. まとめ・表現」のサイクルを意識した取組が大切。
- ・「育成を目指す資質・能力の明確化」「横断的・総合的な指導」が重要。

3 講義「学習指導要領の趣旨を踏まえた総合的な学習の時間の展開と学習評価」

<講師>文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程調査官 齋藤 博伸 氏

○令和4年度教育課程の編成・実施状況調査より

- ・地域と関わる学習に取り組む学校の割合が増加している。

○総合的な学習の時間における単元づくり、授業づくり

○今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開

- ・小学校編、中学校編、高等学校編を確認することで、指導の幅が広がる。



○単元を構想する際の三つの視点

- ・「児童の興味・関心」「教師の意図」「教材の特性」から中心となる活動を思い描くことが必要。

○探究的な学習として単元が展開するイメージ

- ・「広げる」、「選ぶ」、「並べる」、「整える」
- ・「発見」「調査」「提案」のスパイラル
- ・単元の終わりまでに期待する子どもの姿
- ・「立場軸」「時間軸」「空間軸」を基にすると問いが生まれやすい。

○単元計画を具体的に書き表す

- ・「単元構成の実現が可能かどうか検討する」「単元計画としての学習指導案を書き表す」「単元の実践」

- 探究課題から「単元名」「単元の目標」「概念的知識」を明確にする。
- 指導計画において他教科との関連、評価ポイントを明らかにする。
- PDCAにおける検証・改善
 - ・単元の実践を振り返り、単元計画を見直すとともに、次年度の全体計画や年間指導計画の改善に役立てる。
- 学習評価の進め方
 - ・どのような場面で身に付けるべき資質・能力を見取っていくか。
 - ・評価基準を基に×であったものを○にしていく。
 - ・×と○について教師が語り合うことで、評価の信頼性につながる。
 - ・学習の改善と指導の改善につなげる。
- 単元づくりにおいて、子どもたちが単元の見通しをもっているかが重要
- GIGA スクール構想の推進について
 - ・「課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の際にどのアプリを使うか。
 - ・総合的な学習の時間において、組織的・計画的に情報活用能力を育成することを考える。